

ドローン操作体験

飛龍高 活用法、法知識も



ドローン操作を学ぶ生徒
＝沼津市の飛龍高

沼津市の飛龍高は13日、ドローンの体験授業を同校で行い、総合進路コースの3年生30人が操作や活用法を学んだ。

昨年、ドローン教習校を開校した東部自動車学校(同市)の職員が講師を務めた。生徒たちは、ドローンが農業や物流、エンターテインメントなど幅広い分野で活用されていることや、運用に関する法律について説明を受けた。

実技では、重量1.3kgのドローンを操作した。速度や高度などが表示されるiPad(アイパッド)を見ながら、ドローンを2mほどの高さで飛行させた。

体験授業は、生徒に未来の産業を支える技術に触れてもらい、進路選択に役立てる目的で初めて企画した。伊藤武留さん(17)は「ドローンはいろいろな所で使われているんだと知った。思っていた以上に操作は難しい」と話した。

(東部総局・山下奈津美)